

はるかのひまわり

1995年の阪神・淡路大震災、自宅が全壊し当時小学6年生だったはるかちゃんが亡くなり、その年の夏、自宅跡地に大きなひまわりが咲きました。

このひまわりを地元の人たちは「はるかのひまわり」と呼び、人々の「復興」や「平和」を願う花として、その種を取り、全国各地で植えられています。東日本大震災の被災地にも今年数多くの種が植えられています。太陽に向かって真っ直ぐ咲き、希望の光を与えてくれたこの「はるかのひまわり」を榛東村に

もということから、「はるかのひまわり」推進事業として、「はるかのひまわり」の種と一緒に絵本「あの日をわすれない はるかのひまわり」を南北小学校に配布しました。また、福祉センターの利用者の方たちにより、ふれあい館と福祉センターにも「はるかのひまわり」が植えされました。個人で植えて下さった方も多く、この夏、様々な「おもい」が込められた「はるかのひまわり」が榛東村にも咲きます。



※写真は広報紙発行時の様子です。

防災ボランティアしんとう ～普通救命講習会開催～

6月19日防災ボランティアしんとうでは、AED（自動体外式除細動器）を使用した普通救命講習会を開催しました。当日は、参加者の皆さんから活発に質問が出る等、真剣に取り組まれていました。



防災ボランティアしんとうは、災害時の支援及び救援活動を迅速かつ円滑に行えるよう、要援護者の把握（支え合いマップづくり）など支援体制を確立し、日頃より災害に備えた活動を行っています。